

松山空港の利便性向上等に係る調査の結果について

1 調査目的

松山空港は「愛媛県の空の玄関口」として来県者などに対し、愛媛県らしさや利便性の高さなど魅力があふれる施設でなければならず、また、令和5年度の松山空港の利用者は、コロナ前の約9割に回復した一方、今後も人口減少に伴う需要減少が懸念される中、県民のニーズの変化を機敏にとらえた効果的な事業の実施が求められていることから、県民の意向を幅広く取り入れ、愛媛県らしさや利便性の高さをさらに高める事業を実施することを目的にアンケート調査を行った。

2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

3 調査期間

令和6年9月5日（木）～ 9月11日（水）

4 回答者数

400人（18～79歳の県内在住者）

5 概 要

【松山空港の現状】

- ・松山空港を利用する際のメインの交通手段としては、上位が「自家用車（68.3%）」、「リムジンバス（12.3%）」、「路線バス（7.3%）」となっており、7割弱が空港までの移動を自家用車で行うとの結果であった。
- ・関西方面へ移動する際のメインの交通手段としては、「自動車（33.5%）」が最も高く、次いで「飛行機（21.3%）」、「鉄道（21.0%）」、「高速バス（20.5%）」がほぼ同じ割合で続き、最下位は「船（3.8%）」の結果であった。
- ・松山空港を訪れる際の買い物やレストランの金額は、レストランでは平均791円（0円の回答を除くと2,680円）であり、「0円（70.5%）」の回答が最も多く、次いで「1,000円以上3,000円未満（19.0%）」の回答が多い結果となった。一方で、お弁当・ドリンクでは平均372円（0円の回答を除くと902円）であり、「0円（58.8%）」の回答が最も多く、次いで「1円以上1,000円未満（23.3%）」の回答が多い結果となった。また、お土産・物産では平均1,646円（0円の回答を除くと3,874円）であり、「0円（57.5%）」の回答が最も多く、次いで「1,000円以上3,000円未満（16.3%）」の回答が多い結果となった。

【松山空港の魅力向上】

- ・飛行機に乗らなくても訪れてみたい松山空港にするために実現してほしい内容としては、「日用品やアウトレット店等の商業施設の充実（53.5%）」が最も多く、その他上位の回答としては、「地域産品の販売スペース等の空港の道の駅化（40.3%）」、「施設利用による駐車場割引の拡大（40.3%）」、「飛行機の撮影スポットや展望スポットの充実（30.3%）」、「空港施設を活用したイベントの定期的な開催（29.3%）」という結果となった。

【松山空港の航空路線について】

- ・松山空港の国内路線について認知度のアンケートを行った結果、認知度の低かった路線は「鹿児島（38.3%）」、「中部（24.8%）」であり、全ての路線を把握していた方は

41.0%であった。一方、国際路線については、認知度の低い順に「釜山（37.0%）」、「台北（26.3%）」、「ソウル（10.3%）」となっており、全ての路線を把握していた方は51.8%であった。

【その他】

- ・ 松山空港の利用促進に関するその他のアンケート結果として、乗継割引の認知度については、67.5%が「知らない」と回答し、「知っている」と回答した方で利用したことがない割合は20.8%であった。
- ・ 国内旅行をする際の主な情報収集手段としては、「インターネット（航空会社HP）」からの収集が28.8%と最も多く、「インターネット（旅行会社HP）」をわずかに0.8%上回る結果となった。その他上位の情報収集手段として、「インターネット（その他）」が26.3%の結果であった。